**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　臨時国会・改憲反対・野党共闘**

二〇二一年一二月一〇日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、岸田内閣となって本格的な論戦となる臨時国会がようやくはじまりました。９日は衆議院の志位和夫委員長が、１０日には参議院の田村智子政策委員長がそれぞれ代表質問をおこないました。いずれもオミクロン株の脅威のなかでコロナ対策や生活・営業を支える予算の拡充、巨額の大企業支援や軍事費などが計上された補正予算を厳しく追及しました。国会質疑のなかで、岸田首相自身が敵基地能力の「保有」を検討すると表明したことは重大です。日本共産党は、総選挙で掲げた野党共通政策の実現のために、野党４党と力をあわてがんばります。みなさんのご支援をよろしくお願いします。

みなさん、岸田首相と自民党は、総選挙で掲げた改憲４項目の実現をめざす憲法改定に前のめりです。とりわけ問題なのは、改憲４項目の「１，安全保障にかかわる「自衛隊」の明記と『自衛の措置』の言及」です。日本維新の会や国民民主党も改憲発議をおこなう憲法審査会の議論に加わる意向を示していますが、いま憲法審査会を動かすことは、憲法９条を変え、アメリカとともに自衛隊が海外で戦争できる国にすすむこと必ずつながると考えます。確かに中国の軍事的行動の広がりはアジアの深刻な脅威となっています。しかし、日本が中国の軍事的行動に軍事的備えで構えるという対応では、かえって東アジアの平和と安定に重大な危険をつくりだすことになるのではないでしょうか。憲法９条を変え、自衛隊が米軍と一体に海外で戦争できる国づくりを決して許すわけにはいきません。「９条改憲を許すな」の一点で、草の根の運動を大きく広げ、９条改憲の動きを何としても阻止する決意です。ただいま１０００万人をめざした憲法署名に取り組んでいます。みなさんのお力添えを何卒よろしくお願いします。

みなさん、先の総選挙の結果をみて、マスメディアのなかで「野党共闘は失敗」などの報道がおこなわれています。しかし、今回、政権交代をめざして野党４党が共闘したことは、確かな成果があったと考えています。埼玉県内でも、野党共闘の候補が勝利した選挙区は２つから３つに増えました。埼玉１０区のように小選挙区では接戦のすえ敗れたものの、比例で復活当選した選挙区もあります。埼玉８区もあと一歩でした。野党が本気で力を合わせれば政権与党を少数に追い込むことはできると確信します。国民の声を聞かない自民・公明の政治がいつまでも続いていいはずがありません。日本の政治を変える道は、共闘しかない。日本共産党は、今後も誠実に市民と野党の共闘の発展に力を尽くしてがんばります。来る参議院選挙は、埼玉選挙区で、梅村さえこ元衆院議員を擁立します。定数４の埼玉で何としても議席獲得する決意です。引き続きのご支援をよろしくお願いします。

最後に、日本共産党へのご支援を重ねてお願いするとともに、スクープ連発で注目をあつめる「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）